

年頭所感



社会福祉法人 黎明会

理事長 佐々木 典夫



黎明会だより

No.128

編集・発行
社会福祉法人
黎明会
〒187- 東京都小平市
0032 小川町1- 485
☎ 042-346-6611
<http://www.reimeikai.or.jp/index.html>

ましては、世の経済情勢を受けて各種の補助金等が細り、診療・介護報酬も頭打ちで将来の安定運営が覚束ない状態となっていました。その原因の一つが人件費率の上昇であるため、黎明会労働組合と一昨年の6月から20回を超える団体交渉を重ね、昨年末に漸く合意の目処が立ちました。

人件費率の上昇を抑える方策として、一人ひとりの現在の給料を補償しつつ一定の基準を超える職員は今后の定期昇給額を抑制することとしています。また、一方で職員に対する福利厚生制度を充実するほか、

係長・課長への昇任には教養問題、小論文、面接による試験を取り入れ、優れた職員の発掘をしていくことをしました。

次に、新規事業では、平成26年度から開始した介護職員初任者研修は、ほぼ定員どおりの34名の受講者があり、昨年末に全員に修了証を交付しました。今後も地域の介護人材の育成に努めてまいります。

また、27年度は全国の社会福祉事業を対象として助成を行なっている社会福祉法人社会福祉事業研究開発基金を黎明会に吸収合併して、黎明会がこの事業を引き継ぐこと

を予定しています。

助成額は限られていますが、この事業を実施することとなれば黎明会の存在が更に大きくなるものと思います。

有料老人ホーム熱海ゆとりあの運営については常日頃意を注いでいるところですが、実入居者数を確保するため、施設の優れた点である自室からの眺望、医師・看護師の24時間配置、自前の源泉風呂、介護のサポート、多彩な催し等PRすべき項目を定め、広報媒体も雑誌など多くの人の目に留まる新しい方法を取り入れました。その結果、かつてない問合せ・見学希望が寄せられており、これら的新規入居者の増加を期待しています。

最後に、黎明会の施設の運営は、以前からの各施設任せの名残が残っていますが、今は28に及ぶ事業を連携・関連させて一体的に展開させるべきときとなっています。ため、本部機能を強化して企画力を高め、情報管理の迅速化により統一がとれてフットワークの良い黎明会づくりを目指します。

関係の皆様のご多幸を祈念いたしますとともに、行政をはじめ地元医師会、地元社会福祉協議会、地域の関係の皆様におかれまして新年のご挨拶と致します。

皆様には新年を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

黎明会は、昭和20年10月に上野池之端の地に東京大学医学部の学生等により収容施設を開設して医療活動を展開したことが発端となりました。周囲に満ちていた食べ物もなく衰弱した老人、子供、病者などを見て、自分と同世代の若者が戦病死しておられた立場が変わっていたら目の前の困窮している人々は、自分の親、子供の姿であったかもしれないと思いつております。

お陰様で今年の10月には創立してから70周年を迎えます。

今迄経営を担つてこられた諸先輩の足跡の先に幾許かの歩を進め、更に地域と社会に貢献する黎明会にしたいとの想いから、次のことに取り組んでおります。

新年明けましておめでとうございます。



明けまして、おめでとうございます。

年頭に当たり、黎明会の各種事業が役・職員の皆様のご努力と地元自治体のご支援、各種施設のご利用者やそのご家族の皆様方のご協力により円滑に運営されております事に対して、心より厚く御礼申し上げます。

今年は、黎明会の前身である社会事業厚生会館が上野池之端の忍岡小学校の一角で戦災被災者の支援活動を始めてから七十周年を迎えます。この間、黎明会は社会福祉法人としての体制を整備し、時代の要請に即応して事業内容を拡大しつつ一貫して多くの困難な事情を抱える人たちを支え、我が国からのかの社会福祉法人の事業は決して楽観を許されるものではありません。ご承知のように急速な少子高齢化の進行により福祉需要は益々増大しておりますが、国・地方自治体の財政は益々逼迫し、費用のかかる社会保障費支出の削減への動きが加速しております。特

に深刻なことは、社会福祉法人の事業について厳しく経済合理性を求める動きが強まっていることです。勿論、現下の厳しい財政事情を考慮すれば、福祉事業においてもき得る限りの経営の合理化に努めるのは当然であり、そのような観点から、先般来労働組合のご組合を得て労働協約の変更に取り組んでおりますが、「質の評価」が難しく需要の多い福祉事業において経済性が最大の評価基準となってしまうと、経済学でいう「悪貨が良貨を駆逐する」というグレンヤムの法則が働き、福祉事業全体として「質の低下」が心配されます。黎明会としては、職員研修の充実を図り、何とかして事業の質の維持・向上に努めていく考えでありますので、職員の皆さん方にますます、利用者及びそのご家族の皆様におかれましては、黎明会の事業運営に対し厳しくご叱声、ご声援くださいますようお願い申し上げます。そのことが結果的に黎明会の事業の更なる向上、発展に繋がるものと信じます。

黎明会が地域社会から頼られ、利用者の皆様から信頼される事業を展開していくことを期して、年頭のご挨拶いたします。

監事	川畑一良	税理士事務所	社会福祉法人	東京都障害者スポーツ協会	診療施設	小平市社会福祉協議会	理事会長	佐々木利昭	社会福祉法人	迎春
監事	川畑一良	税理士事務所	小平市社会福祉協議会	東京都看護連盟	南台病院	小平市社会福祉協議会	常務理事	佐々木雅典	社会福祉法人	黎明会
監事	吉岡三品義之	税理士事務所	公 益 社 团 法 人	参 与 関	陶山哲夫	会 長 金子惠一	總務局長	掛川裕通	会 長 奥村秀	年頭挨拶
監事	莊太郎	税理士事務所	全 國 土 木 建 築 国 民 健 康 保 健 組 合	顧 問 長 尾 真 澄	夫	副 会 長 陶山哲夫	副 會 長 金子惠一	副 會 長 奥村秀	副 會 長 佐々木利昭	年頭挨拶
監事	一良	税理士事務所	專 務 理 事	吉岡莊太郎	之	社 會 福 祉 法 人	社 會 福 祉 法 人	社 會 福 祉 法 人	社 會 福 祉 法 人	年頭挨拶

法人本部

常務理事 松田雅司

創立70周年の年の幕開けに、会が過去に発行した3冊の「歩み」に改めて目を通しました。設立の混乱期はもちろん、社会保障制度が今とは比較にならない状況の中、資金や運営の手立てよりも困窮者の救済を最優先に事業を進め不屈の精神に圧倒されます。

社会福祉法人への風あたりが強まっている中ですが、当会事業を必要としている方や地域の皆様のために、更に事業基盤を安定させながら、時代が求めている福祉事業の展開を目指してまいります。

診療施設 南台病院

院長 陶山哲夫

医療は社会の経済状況と医療行政に大きな影響を受けますが、南台病院では短期・中期・長期的計画を立て、社会変革に対しても質の強い機能構造を確立して病院を利用し易いようにサービスの向上を図り、また地域の方々と密に医療連携を行って地域医療に貢献し、同時に医療収益に結び付き医療経営にも好影響をもたらすように努力したいと思います。

法人本部

昨年夏、社会福祉法人制度の未

来が断ち切られかねないと認識して改革の方向性を示しました。

一つは地域の方々から信任を獲得し続けるための「地域における公的活動の推進」、「法人組織の体制強化」、「法人運営の透明性確保」、もう一つは「地域における公的活動」を柔軟に実施していくための環境整備としての「法人の規模拡大・協働化」、「法人の監督見直し」です。黎明会も歴史ある法人として、これらの方向性に対応するため、関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

社会福祉法人

東京都福祉事業協会 常務理事 本田章博

評議員

学校法人大妻学院 大妻女子大学

教授 明渡陽子

社会福祉法人

小平市社会福祉協議会 副会長 井上正夫

看護部長 逢坂範子

障害者支援施設 澄水園 診療施設 南台病院

障害者支援施設 澄水園 保護者会会長 北田俊彦

障害者支援施設 澄水園 救護施設 あかつき 施設長 小林健治

障害者支援施設 澄水園 有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷 総支配人 小川英男

障害者支援施設 澄水園 施設長 小貫晴信

障害者支援施設 澄水園 参事 元小平市児童女性部

障害者支援施設 澄水園 事務部長 中川

障害者支援施設 澄水園 参事 早苗猛

障害者支援施設 澄水園 事務部長 中川

障害者支援施設 澄水園 参事 関

障害者支援施設 澄水園 参事 丹羽紀明

障害者支援施設 澄水園 参事 松岡妙子

障害者支援施設 澄水園 参事 弘澤弘

社会福祉法人

聴力障害者情報文化センター

常務理事 丹羽紀明

特別養護老人ホームやすらぎの園 施設長 松岡妙子

東小川橋地区防災対策連合会 会長 矢澤弘

安心して当法人の福祉・介護・医療サービスをご利用いただけることにつながっています。日々人材育成のサポート体制を充実させ、よりサービスの質の向上を図っています。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

法人本部

参事 今野志保子

黎明会として26年度から初めて取り組んだ介護職員初任者研修は当初の募集人員20名を大きく上回る35名で開始いたしました。医療機関を持ち、障害、高齢の分野で70年に亘る実績を積み上げてきている黎明会が取り組む研修ですから、「さすがに黎明会で資格を取った人は一味違う」と評判になるような、「同じ資格を取るなら黎明会で」と思えるような教育機関として今年多くの優秀な介護人材養成に力を尽くします。



法人本部 事務局長 又吉淑介

社会福祉法人への法人税課税問題が議論されるようになり、ますます社会福祉法人の公共性・公益性が求められるようになってきました。そのためにも会内事業間の連携をより一層強化して、透明性かつ安定性、継続性の確保を図り、法人運営の健全化・効率化に努めます。また、地域から一層の信頼を得られる事業展開を進め、継続して人材育成の強化に努め、利用者サービスのさらなる向上に努めていきます。

救護施設 黎明寮

施設長 東郷孝美

本年は、様々な意味で節目の年を迎えることになります。

平成25年度からスタートした生活保護費の見直し、また同様に全国救護施設協議会が掲げた「救護施設が取り組むべき生活困窮者支援の行動指針」の三年計画の最終年度で、今後とも進むべき指標です。そして新たに生活困窮者自立支援法が施行されます。

昨今、社会福祉法人の在り方が問われ、課税すべきとの論調も聞こえているところですが、地域に根づき、必要とされその役割を果たすよう努めてまいります。

障害者支援施設 澄水園

施設長 小貫晴信

園では、昨年グループホーム「こだま」を開設し、「やまびこ」と

ユニット形式で運営しています。

利用者支援にあたっています。

た8月には相談支援事業所「地域

生活支援センター澄水」を園内に

開設し、さらに「地域移行促進コ

ーディネート事業」を都から受託

し、地域移行についての取り組み

を行いました。

今年も、利用者の支援に努力して行きたいと考えておりますので、保護者、ボランティアの方々をはじめ、皆さま本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

介護老人保健施設 けやきの郷

施設長 池島祐二

介護老人保健施設には、入所施設としての役割があります。在宅療養

支援という役割があります。在宅療養支援には、短期入所サービス

がありますが、事前予約が取りづらいため、ご家族のご希望に添え

ない場合があります。そこで、

昨年秋から「ベッドシェアリング(BS)」という新しいサービスを

始めました。BSは、一人で一つのベッドを交互に利用するサービス

です。契約期間は一年間で、この間の利用日程が決まりますので、ご家族の予定も立てやすくなり

評です。まだ一組の利用ですが、今年は拡大を目指してまいります。

診療施設 南台病院

看護部長 逢坂範子

施設中心の医療・介護から、可

能な限り、住み慣れた生活の場に

おいて、安心して自分らしい生活

を実現できる社会を目指すとした

国の方針の中で、入院を余儀なく

される患者さまにも変化が見ら

れ、かなり重症度が高まっている

ことを感じさせられるこの頃で

す。当院では、そんな患者・ご家

族の皆さまから「この病院で療養

できてよかったです」と言つていただ

けるような看護・介護の関わりが

できたらと考へ、行動基準を作成し取り組んでいます。今年もよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホームやすらぎの園

施設長 松岡妙子

やすらぎの園が新築されて今年

で4年目を迎えます。また、昨年

4月に地域密着型介護老人福祉施

設入所者生活介護指定を受け、住

み慣れた小平市住民の生活を支え

ながら支援しております。

「高齢化・人口減・財政難」の三

重苦と言われるよう、保健・医療・

福祉を取り巻く社会状況の厳しさを

強く感じております。地域に根ざし、

地域と共に歩み、社会地域貢献・情

報公開を実施し、皆様の信頼と期待

に応えられるよう、努力をしながら、

経営の安定化を図ってまいります。

本年も宜しくお願ひいたします。

診療施設
南台病院

事務部長 中川猛

熱海ゆとりあの

介護老人保健施設 けやきの郷に就任して

医師 関根 大正

国では地域医療構想の議論が開始されています。当院にとつても地域社会の中でのどのような役割を果たしていくか、目指すべき病院運営の指向性を見定める時期に来ています。

総支配人 小川英男
入居メンバーが安心・安全に豊かな生活が出来るよう、栄養指導や食事相談、介護予防や生活機能訓練の強化により、健康の維持・増進を図り、また派遣職員の直雇への切り替えの整備と組織改正により、更なるサービスの向上に努めてまいります。

引き上げなどの影響を受け、厳しい状況下での病院経営となりましたが、今年は、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・介護、とりわけ在宅部門との連携をより一層推進し、地域にお住いの皆様から信頼され、多くの方々にご利用いただける病院となるよう努めています。

新規メンバーの獲得に向け、引き続き入居メンバーの協力を得て進め、また現行の広報の他に、新たに婦人公論など雑誌媒体と郵便局の広報を実施し、積極的な営業活動を展開し、空室の解消に向け新規入居契約の確保に努め、経営の安定化を図つてまいります。

就労継続支援E型
施設長 古藤幹男のそみ作業所

地域在宅福祉
サービスセンター

センター長
又吉 淑
事業を開始して4年、今までに
大勢の方に訪問介護、訪問給食を
ご利用いただきありがとうございました。

いります。利用者の方・ご家族の方の将来への安心となり、更なるご期待に添えるものとなるよう努力いたします。また、作業所を開設いたします。地域において、来年で25年となります。地域における拠点として、地域と共に歩む作業所として努力致します。



これからも当会の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業所等在宅部門との連携を密にとり、利用者様の多様なニーズに応え、地域の皆様が住み慣れた町で安心、満足のいくサービスの展開をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

に訓練により機能を回復して自宅での生活を目指す施設と、機能回復よりは機能を維持して長期に亘り生活の場となる施設があることを知りました。けやきの郷は前者の施設ですが、入所者の多くが認知症や各種の精神疾患、脳梗塞の後遺症、骨折の後遺症などを合併しています。合併症による理解力

は嘔吐物をモップで掃除して広く拡散させた体育館の床に、集まつた生徒達が手をついたことが原因でした。一度に数百人という大量発生は病原体を薄く広く多大な数に配った時に起きます。その時、一番効率的な感染経路が手と口なのです。この場合にも手洗いが大事です。

設やグループホームに入所する方々のために紹介状や情報提供書などを書いておりましたが、それらの施設の役割や機能、施設間の違いについては知りませんでした。仕事を始めてまだ半月ほどですが、気がついたこと、感想など述べさせて頂きます。この度けやきの郷で仕事を始めてみて、お年寄りが入所する施設こま、在所期間中

査と予防対策に従事しておりました。ノロウイルスやインフルエンザの流行期が近づきましたので少しあり難い状況で、この機会に紹介させていただきます。文科省の依頼で調査した小学校で発生した約200人のノロウイルスの集団発生では、調理員が配膳の際に素手で配ったみかんが原因食材でした。都内の小学校で発生した300人以上のノロウイルスの集団発生で

き世で頂いています。黎明会にお世話になる以前は葛飾区の診療所に勤めておりました。診療所の法人が訪問看護センター・ヘルパー・センターも経営していたので、外来診療の他に在宅患者さんやグループホームの利用者への往診、高齢者の送迎診療も行っていました。高齢者が多く、介護保険の利用者、ショートステイの利用者、老健施設やグループホームに入所する方々のうちに凸凹状の情報提供書

それでも答アロアでは作業療法や音楽療法のために体操したり、歌唱したりする姿が毎日見られます。心身の活動度に個人差があるために上手に行う人と半分くらいできる人、ほとんど見てているだけの人と様々ですが、そこには微笑ましい一体感が感じられました。

私は葛飾区の診療所に勤務する前は東京都の研究所で感染症の調査と予防対策に従事しておりまし

の不足、筋力の低下、各種の動作の障害などがあるため、機能訓練や普段の生活の折々に転倒や転落、打撲などの事故が絶えません。

ボランティア活動で感じたこと

診療施設 南台病院 ボランティア 河野晃子

いつもお声をかけて頂き、ボランティアでフラを踊らせて頂いています。私はフラの出会いは、友人のフラの発表会を見に行き、その時若い方から年配の方まで踊られていて、とても楽しそうで笑顔がステキでした。ハワイが大好きな私は、すぐにフラを習いたいと思い始めました。三十年くらい前になりましたが、その頃はいろいろなダンス（エアロビクス・ジャズダンス・モダンダンス）をミックスして教えていました。ある時ふつと「これから先、自分の体も年を重ねて今までのように動けなくなったらどうしようかしら？」と思いました。フラなら激しく体を動かさず優雅に動けて、曲も癒されるやさしい音色なので、とても良いと感じ二十五年前に習い始めました。今でも自分のレッスンに通いながら、AKIKODANCEの指導もしています。

フラは、見ると踊るのでは少し違います。たとえばハワイの島もあります。たとえばハワイの島もいろいろあります。たとえばハワイの島の花やレイが決まっています。オアフ島—イリマ—黄色、マウイ島—ロゼラニ—ピンク、ハワイ島—モキハレファ—赤、カウアイ島—モキハ

いつもお声をかけて頂き、ボランティアでフラを踊らせて頂いています。私はフラの発表会を見に行き、その時若い方から年配の方まで踊られていて、とても楽しそうで笑顔がステキでした。ハワイが大好きな私は、すぐにフラを習いたいと思い始めました。三十年くらい前になりましたが、その頃はいろいろなダンス（エアロビクス・ジャズダンス・モダンダンス）をミックスして教えていました。ある時ふつと「これから先、自分の体も年を重ねて今までのように動けなくなったらどうしようかしら？」と思いました。フラなら激しく体を動かさず優雅に動けて、曲も癒されるやさしい音色なので、とても良いと感じ二十五年前に習い始めました。今でも自分のレッスンに通いながら、AKIKODANCEの指導もしています。

フラは、見ると踊るのでは少し違います。たとえばハワイの島もあります。たとえばハワイの島の花やレイが決まっています。オアフ島—イリマ—黄色、マウイ島—ロゼラニ—ピンク、ハワイ島—モキハレファ—赤、カウアイ島—モキハ

（介護人材育成担当からお知らせ）

担当参事 今野志保子

○「市民公開講座」を開催しました

認知症看護認定看護師の押本真理子さんを講師に招き、認知症に関する講座を開催致しました。アンケート情報から、内容を報告します。参加された方の参加動機で一番高いのは、家族介護のため、次いで仕事に生かすため、そして、自分の認知症予防のためと続きます。講座を聞いて実践出来そうな事としては、認知症本人に対する

接し方を工夫すること、スキンシップによって気持ちを穏やかにしもらうこと。認知症の方の立場を尊重すること。こころを大切にし、食事・運動に気を配ることなど、即実践の内容を紹介くださいました。講座を聞いて即、今から取り組める内容の紹介、また、足を運んでくれた方の意見を活かして、次回講座を企画します。予定では、27年2月中旬です。ポスター等でお知らせ致します。

○ 平成27年度

介護職員初任者研修の開催を予定します

好評を頂いている介護職員初任者研修は、27年度は「春コース4月開講」「秋コース10月開催」の2回開催予定です。現場で実践を積んでいる講師がホットな情報・技術を提供するため理解が進み、グループワークを多く取り入れるため受講生間の交流が深まります。

介護職員初任者研修「通信課程」 開催予定

開講日程 平成27年 ①春コース 4月～②秋コース 10月～

受講料 50,000円 *分割支払い可

(指定テキスト代 別途3,000円+税)

募集人員 各回 定員 24名 (先着順)

*申し込み受付は2月以降になります。

本養成講座の特色 働きながら資格が取れるように、自宅学習と日曜日を中心とした15日間の通学学習及び実習と通信レポートの組み合わせで130時間の学びのカリキュラムが設定されています。

スクーリング日程 ①春コース 4/12～9/20の日曜日15回
(欠席の場合の補講あり) ②秋コース 10/4～2/20の日曜日15回

スクーリング時間 10時～17時(予定)

会場 やすらぎの園4階 黎明ホール

担当: 今野 ☎ 042(346)6611

お知らせ

◆南台病院歯科外来からお知らせ

9月より東京医科歯科大学より南台病院の歯科外来に就任いたしました菅森と加藤です。南台病院の歯科外来で、それぞれ木曜と金曜を担当しています。

歯科の疾患は虫歯・歯周病など、慢性疾患と呼ばれるものが多く、患者様が気付かない内に進行してしまいます。そのため、治療終了後も当院では、定期的な受診を2ヶ月に1回程度お勧めしており、患者様の歯を健康で美しい歯に保つお手伝いをいたします。治療後のお口の中の状態をできるだけ長い間維持していくためには、大変大切なことです。歯の定期検診、メンテナンスを積極的に受けて頂きますようお願いします。

お口の中のことでお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。当院で対応できない検査、治療が必要な場合は、ご希望をお聞きして専門の病院、施設をご紹介いたします。

患者様のご希望にできるだけ沿える治療を行えるよう、また多くの患者様にご満足・ご納得いただきける治療を行えるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆平成26年度 第3回理事会・評議委員会

平成26年12月11日16時から当会黎明ホールにて、平成26年度第3回理事会・評議員会を開催しました。

会は理事長の挨拶で始まり、組織規程・給与規程等の改定について審議し、全会一致で承認されました。

(又吉)

（又吉）

◆赤い羽根 共同募金

当会では例年どおり10月1日に街頭募金活動を実施しました。募金にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

募金総額 86,188円

◆秋季総合防災訓練

去る10月28日（火）快晴のもと秋季総合防災訓練を実施しました。小平消防署、東小川橋防災連にご協力をいただき、夜間地震発生に伴い澄水園3階で火災発生を想定し、玄関側ロータリーに防災本部、救護所を設置、怪我人や逃げ遅れ者を担架、車椅子、螺旋スロープを使用し救出するという訓練を行いました。併せて訓練終了後に起震車に来ていただき、沢山の方に耐震体験をしてもらうことができました。ガーデンハイツの方、武藏野美術大学の方々も見学に来て下さり、今後も地域の防災拠点の役割を十分果たすべく努力いたします。

施設リポート

をしてまいります。最後に様々なご尽力をいただきました方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。
(香遠)

（古藤）

黎明寮秋まつり

去る10月18日（土）に2年ぶりとなる、黎明寮秋祭りをグランドで開催しました。イブント、模擬店にも多くの方にご協力いただきました。お陰様で盛大に終える事ができました。昨年は台風直撃で開催が施設内となり、地域の方々や関係機関を招いて開催することができず…。

今年は…！と気合を入れながら準備すると、当日は穏やかな秋晴れとなり、地域からそして黎明会内の各施設からも多くの方々が会場に足を運んでくださいました。本当にありがとうございました。

来年以降も今年以上に多くの方々と交流が深められればと、職員一同思っています。

（酒井）

（古藤）

▲やすらぎ演奏会

ブラスバンド「ウインズ・パストラーゼ」をお招きして、去る10月25日（土）やすらぎの園（黎明ホール）にて演奏会が開催されました。

「ウインズ・パストラーゼ」のメンバーは30名、曲目はボギー大佐から始まり10曲の素晴らしい演奏をお聞かせいただきました。や

すらぎの園のご利用者様、ご家族様、その他黎明会の他施設から合わせて60名余りの方がお見えになりました。演奏に合わせて歌うこともでき、共に参加できる曲目も織り交ぜていただき、楽しい音楽会になりました。

（酒井）

「ウインズ・パ

ストラーゼ」の代表の平沢様、メンバーの皆様

ありがとうございました。

（又吉）



